



6月16日

# いいなっつ農園

## ジャガイモのおすそ分け

今年も豊作！ホクホク！美味しいジャガイモができました！  
いいなっつ農園育ちのメイクインと男爵のおすそ分け。

3月30日に植えたメイクインと男爵。

農園ボランティアさんが丹精込めて育ててくださったジャガイモ。梅雨に入り雨が続きと傷みややすいからと早めに収穫しました。老人施設内で調理している、ひざし・瀬戸の里・和にお届けし、喜んでいただきました。



収穫の様子



おばけの  
○太郎みたい！



7月1日



カンリー2号・かちわり等8種類の南瓜、約20本を植えていただきました。苗がこのサイズになるまで家で育ててくださり、大きくなったので農園にお引越し。苗を鳥などに食べられないように廃材の袋を利用して囲い、鳥獣対策。文化祭で美味しい南瓜を販売する予定です。



サツマイモは順調に育っていますが、里芋は害虫イモムシのセスジズメがいっぱい！「これ以上、里芋の葉っぱを食べないで！」



7月9日



## 受け継がれる稲津の自然とボランティア精神

### 稲津町内整備作業

「ふるさとの自然を守るために」  
「つぎの世代に繋げるために」  
ボランティアで参加して  
くださった86名の皆さん、  
ありがとうございました。

小里城跡は、小里城顕彰会と小里地区の区長さんを中心に整備しました。御殿場付近は大人の腰の高さまで伸びた雑草の草刈りをしました。最近の山城ブームで県外からのお客さんも多くハイキング感覚で安全に登っていただけます。

水洗・中学校線桜並木、止静庵跡、いいなっつ農園は、まちづくり地区推進委員、区長会、卯月会、市役所稲津会、理事等多くの方に協力をいただきました。前日の雨で、湿気が多く蒸し暑い中、足を踏ん張って急な斜面の草刈りや鎌とノコギリでの手作業は大変でした。公民館周辺はシルバー人材センター稲津支部さんが隅々まで綺麗に整備してくださいました。

また、八幡神社下旧保育園跡は7月4日に有志の方々が事前に草刈りをしてくださいました。



水洗中学校線桜並木



小里城跡



止静庵



公民館周辺シルバー人材センター



いいなっつ農園

やっぱり稲津っていいな！  
大発見！

## インスタグラムフォトコンテスト開催中！

大好きな稲津をみんなで楽しみましょう！

「自然・ふれあい・歴史」など自由なテーマで写真を撮影。

コンテストのハッシュタグ #いいなっつ をつけてインスタグラムに投稿してください。

応募期間 第1弾 令和4年5月～9月30日(金) 選考日10月中旬頃

コンテスト対象条件 1. 投稿にコンテスト用ハッシュタグ「#いいなっつ」をつける

2. 瑞浪市稲津町で撮った写真

3. お住まいは問いません(日本国内)

4. 投稿回数には制限はありませんが、1回の投稿につき画像の添付は1点としてください。複数の画像が添付された場合は、1枚目が対象となります。

※詳細はホームページ「いなつ日和」インスタグラムの記事をご覧ください。



ii-nuts!!ギャラリー

季節のロビー  
展示開催中

## 花火のご協賛 ありがとうございました

思い思いの願いや希望を託し4色215件の短冊を10枚のパネルに掲載しました。全ての願いが叶うことでしょう。

多くの協賛をいただき、お陰様で町民の皆様は祈願打ち上げ花火を楽しんでいただくことができました。厚く御礼申し上げます。



## 8月の稲津さん

### 心なごむお地蔵さん

寺井 孝太さん 53歳(羽広) 陶芸作家



多治見工業高校の窯業科卒業後、陶磁器意匠研究所で学び稼業の製陶業をしていました。

しかし、大病をしてあきらめかけていたところ、父に後押しされ粘土を丸めるところから始めてみました。25年前から羽広に「とんぼ館 小里工房」を開き、最初は失敗の連続でしたが、やっと軌道に乗ってきました。乾いたものを素焼きし釉薬をかけ、ガス窯で還元焼成と言う製法で18時間焼きます。1時間ごとに温度管理をして1,200度まで温度を上げていきます。

2人の娘はこの仕事に興味はなく違う仕事をしていますが、ネイリストの二女とコラボしたフクロウや、子どもに人気の型で金色は金運・ピンク色は恋愛運とユニークな作品もあります。手作りなので全て表情が違います。美濃焼祭りや、干支の時期は忙しいです。

また、30年空手をやっていて、南中学校の武道場で30名ほどに教えています。空手のおかげで今の自分があると思っています。

## 「青少年育成・社会福祉標語」の募集について

稲津町青少年育成町民会議教育部会には、心豊かな“人づくり”、“地域づくり”を進めるという生涯学習の理念があり、標語募集を通じて町民の意識向上につなげます。青少年育成町民会議と社会福祉協議会稲津支部と合同で、小中学生の皆さんに「青少年育成・社会福祉標語」を下記のとおり募集しています。

- ◎テーマ 「支え合う」「あいさつ」  
どちらか好きなテーマを選んで応募してください。
- ◎提出期限 学校指定の日
- ◎提出先 稲津小学校・瑞浪南中学校・麗澤瑞浪中学校
- ◎発表 入選作品は2月1日号のいなつびよりに掲載します。  
優秀作品は青少年育成町民会議で表彰します。  
最優秀賞の4作品は、公民館ホール前の標語パネルに1年間掲示します。



人口	6月1日現在		7月1日現在		増減	小里	不燃ごみ	
	男	女	男	女			8月17日	9月15日
世帯数	2,069	2,143	2,073	2,141	4	萩原	8月16日	8月25日
	4,212	4,212	4,214	4,214	2		9月14日	9月26日
	1,716	1,716	1,721	1,721	5			

**故郷探訪 大皿**

皆さん「瑞祥」という名を知ってみえますか。瑞浪市は志野・黄瀬戸・織部に代表される室町時代の創業といわれる美濃焼で栄える町であり、稲津町も古くから製造、鑄込み、絵付けそして陶土など陶器関係の工業が栄えた町です。市内には陶磁器の巨大モニュメントがあります。陶町に高さ約3.3mの美濃焼「こま犬」、高さ約5.4mの「豊稷の壺」があります。そして稲津町には直径2.8m、高さ30cm、重量1.2トンの大皿があります。この大皿が「瑞祥」と命名されています。この「こま犬」、「豊稷の壺」、「瑞祥」の巨大モニュメントの焼き物がギネス世界一に認定されています。

この大皿「瑞祥」は構想から完成まで1年8か月を費やし、延べ150人の地元人の労力によって造り上げられ、約1,200度で1週間かけて焼き上げた大皿です。

現在は、稲荷神社境内に「瑞祥記念館」が建てられ稲津いきいき会の人たちによって管理されています。隣には「大陶神社」が瑞祥を見守るかのよう建立されています。「瑞祥記念館」の入り口の鍵は「稲荷温泉」で貸し出しています。

お近くにお寄りの際は、ギネス世界一の大皿を見てみてください。